

百済寺跡公園リニューアルオープン



復元された築地塀

くだらであと
百済寺跡公園（特別史跡）は、リニューアル（再整備）工事を令和7年3月に無事終え、一新しました。再整備のための発掘調査から数えると、20年を超える年月を費やした一大プロジェクトです。発掘調査や再整備工事の様子については、本紙でも度々取り上げましたので、今回はシン・百済寺跡公園の見どころを紹介します。

目玉の一つは、百済寺の外周を囲っていた
ついでい
築地塀の一部復元です。発掘調査で得られた
築地塀の基底部の幅（およそ1.1m）を基に、
文献（『延喜式』）から高さを算出し、現存する
古代の木造建造物を参考にして軒の出や木
組みの間隔なども検討し、南門から東門北側
までの約125m分を築造しました。なお、東
門の北側は版築という古代の工法を用いてい
ます。屋根には百済寺の創建当時（約1250
年前）に使われた軒先瓦を再現して葺いてい



築地塀の軒先の様子（再現軒先瓦と出土軒先瓦）

ますので、築地塀の高さとともに観察してください。

もう一つの目玉は、塔などの建物^{きだん}基壇や礎石の復元です。基壇とは重量のある寺院建造物を支える土台のことです。塔跡の発掘調査で凝灰岩^{ぎょうかいがん}の切石による基壇の外装が確認されたことから、東塔・回廊東半分・中門については創建当時の寺院の様子が想像できるよう、切石による基壇復元をしました。

これに対して西側は、遺跡として残された様子を観察するために、西塔の礎石などをそのまま露出展示しており、創建当時の礎石にふれることができます。回廊西半分は、残っていた礎石を埋め戻して保存し、真上に精巧に再現したレプリカを設置しました。

今回の再整備工事のなかで、遺構を損壊し、視界を遮っていた樹木を伐採しました。非常に見晴らしがよくなり、^{くだらのこにきし}百済王^{ひやくさい}氏一族が築いた古代都市、禁野本町遺跡やその先の周辺地域を広く一望できる絶好の場所に、百済寺が建てられたことがよく分かります。逆に言えば、古代都市のどこからでも見えていた百済寺は、彼ら一族にとってかけがえのない寺院だったのでしょう。

このように生まれ変わった百済寺跡公園に、ぜひ遊びに来てください。



西塔（手前）と東塔の基壇



金堂跡から北方を望む

イベント
開催予定

❖ お知らせ ❖

イベント名	開催日
総合文化芸術センター別館で開催します	
① 市民歴史講座 「江戸時代の枚方市域村々とお触れ」	11/22（土）
② 市民歴史講座「枚方における都市 形成と軍需工場」（仮）	R8. 2/21（土）
旧枚方宿にある 10 店舗・枚方宿鍵屋資料館で開催します	
③ 第5回 枚方宿まちかど歴史展示	12/1（月）～12/14（日）
旧田中家鋳物民俗資料館で開催します	
④ 七宝講座	11/27、12/18、R8. 1/29（木）
⑤ 彫金講座（全5回）	R8. 1/17・24・31、 2/7・14（土）
⑥ パーナーワーク講座（全4回）	R8. 2/4・11・18・25（水）
交野天神社で開催します（予定）	
⑦ 文化財防火デーによる消防訓練	R8. 1/24（土）（予定）
旧田中家鋳物民俗資料館・市内工場で開催します	
⑧ くらわんか鋳物ツーリズム 第3回 クボタ枚方製造所	R8. 2/11（水・祝）

◆第5回 枚方宿まちかど歴史展示

旧枚方宿にある10の店舗と枚方宿鍵屋資料館で、各店に伝わる昔の道具や市所蔵のくらわんか茶碗などを展示します。

12月14日（日）には、^{おかほんまち}岡本町会館で枚方宿ゆかりの出土遺物や最新の発掘成果に関する展示も開催。この1日しか見られない限定展示なので、ぜひお立ち寄りください。



2024 年の展示の様子